



BEATA MUSICA TOKIENSIS 14TH CONCERT

ベアータ・ムジカ・トキエンシス 第14回公演

預言者エレミアの哀歌が始まる

～ 受難節と復活のモテット～

レクチャー付きコンサート

演奏

ベアータ・ムジカ・トキエンシス
楠木綾・望月万里亜・長谷部千晶
及川豊・田尻健・小笠原美敬

企画アドバイザー・お話
斉藤基史

演奏曲目：

オルランド・ディ・ラッソ 聖木曜日のための預言者エレミアの哀歌
Orlando di Lasso (1532-1594) Lamentationes Hieremiae Prophetae, Primi diei

ヨハン・クリストフ・デマンティウス 「イザヤ書53章によるイエス・キリストの受難と死の預言」
Johann Christoph Demantius (1567-1643) Weissagung des Leidens und Sterbens Jesu Christi aus dem 53. Kapitel des Propheten Esajae

ハンス・レオ・ハスラー 「良い羊飼いは復活されました」
Hans Leo Hassler (1562-1612) "Surrexit pastor bonus"

ミヒャエル・プレトリウス マニフィカト 《良い羊飼いは復活されました》
Michael Pretorius (1571?-1621) Magnificat super Surrexit pastor bonus

他 (曲目は予告なく変更する場合がございます)

2024年

- | | | | |
|-------------|-----------|----------|-------------------|
| ① 4月 4日(木) | 日暮里サニーホール | コンサートサロン | 19:00開演 (18:15開場) |
| ② 4月 6日(土) | 日本ホーリネス教団 | 東京中央教会 | 17:00開演 (16:15開場) |
| ③ 4月 17日(水) | 九州キリスト教会館 | (福岡公演) | 19:00開演 (18:15開場) |

※いずれも開演15分前より、斉藤基史氏によるレクチャーがございます。

■チケット料金(全自由席)

- | | | | |
|-----|-----------------------|-----------|-----------|
| ①/② | 一般 4,500円 (当日 5,000円) | ペア 8,500円 | 学生 2,500円 |
| ③ | 一般 4,000円 (当日 4,500円) | ペア 7,500円 | 学生 2,000円 |

※学生券は、当日受付にて学生証をご提示の上ご入場下さい。 ※ペア券は前売りのみ。

■チケット販売・お問い合わせ

オフィスサワイ tel: 090-2243-3210 E-mail: officesawaimusic@gmail.com

公演内容に関するお問い合わせ: トキエンシス beatamusicatoki@gmail.com 042-455-1997(公演当日以外)
主催: ベアータ・ムジカ・トキエンシス(公式サイト <http://beatamusicatoki.wix.com/beatamusicatokiensis>)

チケット購入
QRコード



ベアータ・ムジカ・トキエンシスは、これまで16世紀のドイツ語圏で作曲されたラッソのマイ受難曲などを取り上げてきました。今回は少し趣向を変え前半では「受難」を扱ったラッソの名作「聖木曜日のための預言者エレミアの哀歌」などを、後半では「復活」をテーマにした作品を演奏していきます。ラッソ以外には、彼に影響を受けたルター派作曲家たちによる作品を演奏しますが、デマンティウスのドイツ語作品は以前に取り上げた彼のヨハネ受難曲の後に付されたものです。ハスラーのラテン語によるモテット「良い羊飼いは復活されました」と、それを元にしたプレトリウスのマニフィカトが歌われますが、これはドイツ語とラテン語の歌詞が交互にあらわれる興味深いもの。演奏される機会のない16世紀末ドイツ語圏の受難と復活の音楽を、どうかお聴きください。(斉藤基史)

鐘木 綾(かぶらき あや/ソプラノ)



東京生まれ東京育ち。幼少期から歌うことが好きで、10歳の時に小学校の聖歌隊に入り、賛美歌やハンドベルを通してキリスト教音楽に親しむ。国立音楽大学附属高等学校音楽科へ進学。同時期に中世音楽合唱団に入り、グレゴリオ聖歌やルネサンス音楽を歌う楽しみを知る。国立音楽大学声楽科へ入学し、西洋古楽コースでバロック音楽を学ぶ傍ら、日本伝統音楽コースで三味線を専攻し、長唄囃子のサークルに入り、邦楽に触れる。ハンドベルもサークルで続ける。東京藝術大学大学院古楽科バロック声楽専攻修士課程修了。

望月 万里亜(もちづき まりあ/ソプラノ)



大宮光陵高校音楽科卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。これまでに声楽を朝倉蒼生、佐々木典子、古楽声楽を鈴木美登里の各氏に師事。日壇文化協会主催フレッシュコンサートにてアウガルテン賞受賞。ルネサンスのポリフォニーをはじめバロック期の声楽作品やロマン派のドイツリートを得意とし、バッハのカンタータや「ミサ曲口短調」、モーツァルト「ハ短調ミサ」ソプラノII、ペルゴレージ「スターバトマターテル」等、教会音楽にてソリスト及びアンサンブルメンバーとして多数出演、録音に参加。「バッハ・コレギウム・ジャパン」「ベアータ・ムジカ・トキエンシス」「レ・グラース」各メンバー。BONA MUSICAE MEMBRA主宰。

長谷部 千晶(はせべ ちあき/ソプラノ)



フェリス女学院大学音楽学部器楽学科卒。声楽を花井尚美、鈴木美登里、原雅巳、古楽声楽アンサンブルを花井哲郎の各氏に師事。ルネサンスのアカペラアンサンブルをメインに活動する他、ジュエチャー付バロック・オペラにも多数出演、指導アシスタントを務める。ルネサンス期の記譜法である白色計量記譜法を指導。楽曲のアカペラ編曲も手掛る。「レ・グラース」「ベアータ・ムジカ・トキエンシス」各メンバー。株式会社 Voice Crew 所属 ビジネスボイストレーナー。

及川 豊(おいかわ ゆたか/テノール)



盛岡市出身。岩手大学教育学部及び東京藝術大学音楽学部声楽科を卒業。宗教曲を中心にソリストを務め、福音史家としてはバッハやシュツの他、H.ディストラー、ヘルツォーゲンベルクの受難曲、またラッソ「マイ受難曲」CDでのラテン語の朗唱においても評価されている。グレゴリオ聖歌、ルネサンス期のアンサンブルの分野においても活躍しており、ヴォーカルアンサンブルカペラ、ラ・フォンテヴェルデ、聖グレゴリオの家の家聖歌隊「ファヴォリート」など多くの演奏会、録音に参加。聖グレゴリオの家宗教音楽研究所合唱講師。

田尻 健(たじり たけし/テノール)



熊本県出身。関西学院大学法学部法律学科卒業。エリザベト音楽大学大学院音楽研究科宗教音楽専攻修士課程修了。フランスのオーベルヴィリエ・ラ・クールヌーヴ地方音楽院にてバロック音楽のDEM(音楽研究資格取得。ヘンデルの「メサイア」、バッハの「口短調ミサ」、モーツァルトの「レクイエム」などのソリストとして様々なコンサートに出演。オペラではヘンデルの「アルチーナ」オロンテ役、ラモアの「プラター」テスピス役などを演じる。エリザベト音楽大学非常勤講師。

小笠原 美敬(おがさわら よしたか/バス)



東京藝術大学大学院修了。平成14年度文化庁芸術家在外研修員としてドイツに留学。故・小笠原克美、高橋大海、マックス・ファン・エグモント、ノーマン・シェトラー、ペーター・コーイの各氏に師事。ラインニッシュェ・カントライ、コレジウム・ヴォカール・ゲント、BCJなど世界屈指の古楽アンサンブルのメンバーを歴任し、古楽に精通するバス歌手の一人として国内外で数多くの演奏会や音楽祭に出演している。「ラ・フォンテヴェルデ」メンバー。

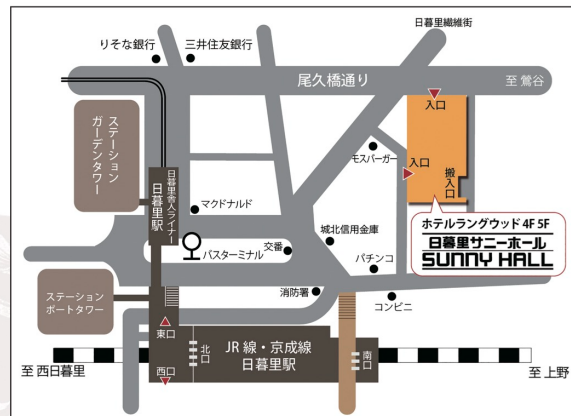
斉藤 基史(さいとう もとふみ/企画アドバイザー・トーク)



埼玉県出身。成城大学大学院博士課程修了。戸口幸策氏に師事。専門はルネサンス宗教音楽。地方公共団体ホール勤務後、2000年よりヴォーカル・アンサンブル カペラ、コンラポントのコンサート企画、運営などを行うフォンス・フロリス事務局マネージャーを務める。2005年から2008年まで目白バロック音楽祭実行委員。古楽イベント企画Kogakulianメンバー。共著「CDで聴くキリスト教音楽の歴史」共訳「西洋の音楽と社会2ー花開く宮廷音楽」CD解説執筆多数。2011年より音楽修辭学勉強会主宰。

日暮里サニーホール コンサートサロン

東京都荒川区東日暮里5-50-5
アートホテル日暮里ラングウッド4F



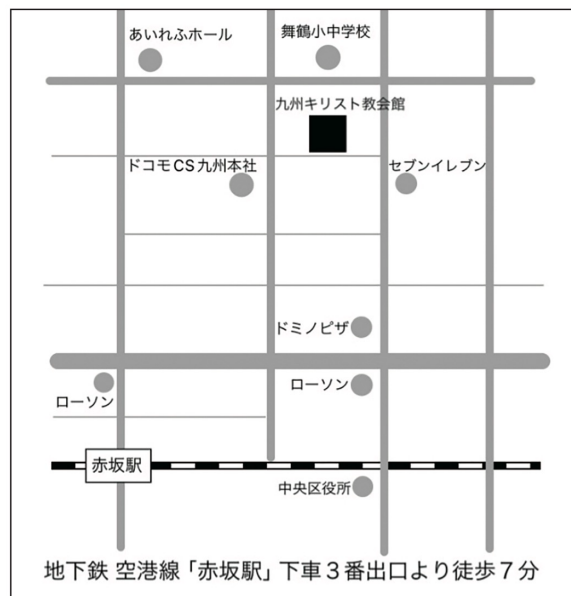
日本ホーリネス教団 東京中央教会

東京都新宿区北新宿1-24-12



九州キリスト教会館

福岡県福岡市中央区舞鶴2丁目7-7



ベアータ・ムジカ・トキエンシス1st CD大好評発売中!
レコード芸術準特選盤、朝日新聞推薦盤

ラッソ「マイ受難曲」

RGCD-1051 3,190円(税込)
[製造・販売元]レグルス